

国境を越えたジャニーズファンのライフヒストリー

ー日本型音楽産業の中国への展開ー

本論文ではこれまで海外展開を積極的に行なってきたジャニーズ事務所において、海外在住のジャニーズファンがジャニーズをどのように応援してきたのかという問いについて明らかにした。昨今、ジャニーズ事務所の創設者である、ジャニー喜多川氏の問題が世間に大きく注目され、改名も行われた。しかし、本論文においてはジャニーズ事務所が新たな体制を迎える以前、インタビュー対象者が海外で応援を続けてきた時点で注目して研究していくため、記載はジャニーズ事務所のままとしている。

海外にいる時点でジャニーズ事務所のアーティストを好きになり、現在日本にいる方を研究対象とし、インタビュー形式で三名に調査を行なった。どのようにして海外のファンたちは応援してきたのか。彼女たちが日本に来てからの応援スタイルも含め、ライフヒストリーを通して考察を行った。

先行研究では海外のジャニーズファンのコミュニティについてファンとファンを繋ぐインターネットの用いられ方が注目されているが本論文ではジャニーズ事務所のアーティストとファン自体を繋ぐものとして用いられていること注目し、先行研究とは異なる知見を得た。また、ファン一人一人のライフヒストリーに寄り添いながら進めていく点も本論文のオリジナリティである。

インタビュー調査を行った結果、ジャニーズ事務所のアーティストたちを知った彼女たちは海外という離れた地の中で想像以上に SNS を駆使しながら応援を続けてきたことが明らかになった。コロナウイルスが流行する前までは SNS を公式にはあまり利用して来なかったジャニーズ事務所であったが、その応援する海外ファンの中では SNS だけが重要な役割を持ってきたという不思議な結果となった。今回のインタビュー調査を通して、日本にしかない、日本でしか会えないというもどかしさは人の心を大きく動かす種にもなるということも明らかになった。時代遅れのジャニーズと感じていたが、世界の中のこの日本という狭い空間で活動を続けることはジャニーズらしさであり、魅力であったのだなと考える。これからジャニーズ事務所は、STARTO ENTERTAINMENT と会社名を変え、新たな挑戦を始めることとなるが、その挑戦を今後も注目していこうと思う。